

前倒しの建設は可能なのか。  
**町長** ①高齢化率は、今後、他市町でも上昇していくと思われれます。逆に、この大町町がその先進とならなければならぬと考えています。

高齢者の皆さんが、イキイキと生き甲斐をもつて暮らせる町でありたいと思っています。少子化についても、全国でもトップクラスの子育て支援や教育環境づくり、充実した定住移住促進を中心魅力ある町づくりを通して、子育て世帯を含めた転入者の増加に努めていきます。

②高齢者の経験や知恵を活かす仕組みづくりについては、大町町老友クラブ連合会の事業として、日々活動されています。

町としては、この老友クラブ連合会の事業実施に当たり、高齢者生きがいと健康づくり活動助成金という形で支援させていただいています。



▲老人趣味の会「作品展」の様子

③少子化対策については、冒頭に申しあげましたとおり、充実した定住移住促進を中心に魅力ある町づくりを通して、子育て世帯を含めた転入者の増加に努めていきます。

生産年齢人口の増加対策として、産業振興と雇用拡大を目的に、町内への企業誘致や起業への支援にも努めております。

④関連する諸課題についてお答えします。

まず、高齢者を対象とした、カラオケ機材の普及とカラオケコンクールについては、現在ある資源を最大限に活用していただければと思います。

スポーツセンターの前倒しでの建設をとのことですが、皆様にご不便をおかけした点については、誠に申し訳なく思っております。スポーツセンター単体としての建設にするか、公民館や屋内運動場等の機能を併せ持つ複合施設として、建設するのか、慎重に検討をしているところです。

町立病院跡地や工場跡地を活用して諸問題の解決ができないかとのご質問ですが、今後、国道34号沿いの賑わい創出、町の活性化のため、有効に活用していきたいと考えており、スポーツセンターや複合施設の候補地としての選択肢にもなりうるかと考えています。

工場跡地につきましては、民間企業の所有地であり、相手もあることなので、答

弁は控えさせていただきますと思います。

### 「大町ふるさと館」の有効活用について

**議員** ①アンテナショップ

は、町外にあるのが常識

②リニューアルオープン後の収支報告（町とふるさと館の関係）

③「ふるさと館」に対する町民の声

④今後の有効活用について

**町長** 「大町ふるさと館」に対する町民の不満の声を代表してのご質問だと思えます。

特に、物産コーナーについては、年々、町内で野菜を作る農家が減り、安定供給ができずに、早朝から野菜市場に出向き仕入れるという事態となり、多くが売れ残り、数少なくなつた生産者へも引き取りや処分をお願いせざるを得ない状況で、客足も減少し、赤字続きの厳しい経営状態であったというのが実情でした。

公募をし、物産所を含め、募集しましたが、応募者はゼロで、今まで受託をいただいていた業者も辞退をされました。

今後は、いろんな意見も可能な限り取り入れながら、町民も楽しめるイベント等の開催も考えていきたいと思っています。

利用されていた町民の皆様には、期待に沿えず申し訳なく思いますが、議会や区長会等で、説明をさせていただきます、その時のご意見もいただいています。

何か説明が必要でありましたら、お伺いしますので、よろしくご理解いただきませうようお願いいたします。